

とうえい
9月号



発行者 ● 社会福祉法人桐栄会

● 青森市浪岡大字樽沢字村元330番7

TEL 0172-62-9201

FAX 0172-62-9019

編集 ● 広報「とうえい」編集委員会



床走行式電動リフト

床走行式電動リフト2台が施設に導入されました。

介護職員を対象に基本動作に関する講習会を行い、実際に操作して不安なく使用できるよう学びました。

8月から本格的にリフトの使用を開始し、主に介護職員一人で移乗するのが困難な利用者の方を対象とし、特治場への移動や車椅子への移乗を実施しています。

使い始めはスリングシートを利用者の方へ装着する事にも手間取り時間がかかるつたが、毎日使用するうちに手際良く、確実に装着できるようになりました。

その事により、職員も利用者の方を抱えることなく移乗が出来るので体の負担が少なく、また利用者の方もリフトで体が持ち上がっても怖がる様子もなく、安心した表情が伺えました。

ノーリフティングケアへの取り組みは4年目を迎えました。今回リフトを導入する事により、一層ノーリフティングケアの重要性を感じることができた事と、他事業所にも情報発信に努めていきたいと思います。

和額愛語

いつも笑顔にあふれ明るく
さわやかなサービスの提供を
目指したい

M・M



夏祭り



7月30日に夏祭りが行われました。当初屋外の予定だったものの猛暑という事もあり屋内での開催となりましたが、職員が準備したゲームで遊ばれたり、ねぷたの前で写真撮影をしたり、提供した焼き鳥や焼きそばを召し上がったりしました。

皆様力強くスイカを叩いてあり割れ瞬間は盛り上がってきました。

終始祭りならではの賑やかな様子で夏の雰囲気を味わい楽しまれていました。

T・K



締めにスイカ割りを行いました。
今年はドライブに行きたいとの要望が利用者の方々から多く聞かれ、少人数に分けて実施しています。

今回は田舎館村の田んぼアートを見に行き、皆さん「稻でこんな絵ができるんだあ、すごい」と大変喜んでいました。その後は、弘南鉄道弘南線・田舎館駅で平川市在住のアーティスト「GOMA」さんが駅構内に描いた絵を見に行きました。

今年の夏は芸術に触れる事で「何かの作品を見るのもいいなあ」と喜んでいました。

T・S

外出で気分転換



今年はドライブに行きたいとの要望が利用者の方々から多く聞かれ、少人数に分けて実施しています。

今年の夏も暑い日が続いているですが皆さんいかがお過ごしでしょうか?

さて、グループホームでは今年度より利用者の方々から畠作業をしたいとの声が多く、畠を作る事にしました。

「自分で食べたいものを育てたい」との事で、自分達で苗や種を選び収穫に向け一生懸命水やり、周りの草取り等行っています。

畠の話で日常生活にメリハリができる、精神面の安定にもつながることが出来ていると思われます。

8月に入ると収穫したトマトが食卓に並び、皆で「おいしい」と笑顔で食べていました。

T・S

グループホーム いこい
日常生活

ケアハウス しづか

7月4日に、青森新都市病院の先生方が来られて、「青森健康体操」を行いました。内容を紹介しますと…

あおもり ひろさき はちのへ くろいし ごしおがわらに とわだに みさわ むつに つがるに ひらかわ 「シティー シティー」 シティーが10個(じゅうこ)あるんだぜ 「イエイ！」

という曲に合わせて、腕を回したり、ぴょんぴょん跳ねたりする体操です。

始めは、音楽に合わせてなかなか体が動きませんでしたが、毎日続ける内にだんだん動けるようになつてきました。体操が終わると、みんなで話をするのが楽しくて毎日来られた方もいるようでした。先生から体操を始めて一ヶ月後に評価をして頂くと…「少し良くなつてきました」との事でした。「継続は力なり」ですね。

今後もケアハウスでは、この体操を続けていきたいと思っています。 A・E

青森新都市病院体操

7月4日に、青森新都市病院の先生方が来られて、「青森健康体操」を行いました。



新作ねぶた

藤崎町水木地区在住のねぶた絵師鈴木魁斗さんが新作を描いて下さいました！



三一夏祭り



7月中旬、みづき!!! 夏祭りを行いました。少しでも祭りの気分を味わってもらいたいと金魚すくい、射的、昔ゲームセンターでよく見かけたワーカーパーティクルゲームを真似たスリッパ叩きを行いました。

金魚すくいはミープールに水を張り、ポンポンを使用したかも生きているかのような金魚の形をした醤油入れをすぐつもらいました。

一度に何匹もすくい方もいれば、金魚ではなく違うマスクコサツを取り職員に「金魚以外は減点だよ」と言われ、「せばまね」と慌ててプールの中に戻す方も…。

スリッパ叩きでは6個の穴のどこからスリッパが出るか身構え表情はいつも増して真剣で力強く叩き出したスリッパが職員の手から落ちてしまふ場面も…。

ゲームの景品には毎日の暑さに負けず少しでも涼しく過ごして頂けたらと暑さ対策の物をプレゼント。普段のレクリエーションとは違った雰囲気で楽しんでもらえた様でした。

T・K

調理員
葛西 桃代介護職員
三浦美津子調理員
福原 タマエ調理員
佐藤美津子

常盤事業所の新職員さん

勝ったチームのリーダーには職員手作りのくす玉を引いてもらい、「優勝おめでとう」の垂幕が降りてぐるり囲ひ合つてござりました。

K・N

運動会シーズンという事で、デイみづきでも運動会を行いました。

赤と白に分かれ応援合戦から始め、両チームとも気合十分で応援をし、盛り上げていきました。

「飛び出せ紙風船」では、一人一組になって筒状の中に入った紙風船を下からつかわで扇ぎ、早く紙風船が飛び出したチームを勝ちとしましたが、これがまたなかなか飛び出さず、途中から職員も参加し皆で汗だくになつて行いました。

今年は猛暑で県内にも熱中症警戒アラートが何度も発令され、とても暑い日が続きました。各地の祭りや花火大会も終わりに近づいた頃の8月21日～8月26日の一週間、デイケアでは納涼祭を開催しました。

ゲームは射的、輪投げ、千本引き、お菓子釣りを用意しました。

屋台では、綿あめ、フランクフルト、チョコバナナ、かき氷、ラムネ、らくがきせんべいを準備しました。

先にかき氷を「しゃつじいな」と頬張る利用者の方、「フランク食べたいなー」と出向く方、射的では、両手でおもちゃの銃を握り真剣な表情で的を狙う方など、普段とは

違う雰囲気をそれぞれが楽しまれておりました。

中でも落書きせんべいは色とりどりのザラメを見て「これ何?見たことない、きれいだー。どうやるのこれ?」など興味津々な様子。

せんべいに自分の名前や、思い思いの絵を書いて色つきのザラメをかけ

ると「わーきれいだ、珍しいな」と笑顔が見られました。

「子供の頃にタイムスリップしたみたい!綿あめなんて何十年ぶりだろ?…」と昔を懐かしむ声もあちこちから聞かれました。

また来年も利用者の方に喜んで頂ける夏祭りを職員で考えて盛り上げたいと思います。

納涼祭

通所リハビリテーション

今年は猛暑で県内にも熱中症警戒アラートが何度も発令され、

とても暑い日が続きました。

各地の祭りや花火大会も終わりに近づいた頃の8月21日～8月26日の一週間、デイケアでは納涼祭



にしやま事業所

★それって、「秋バテ」!?



今年の夏は、非常にゆっくりな台風が到来し九州・沖縄を中心の大雨をもたらし、全国的にも類をみない猛暑が続きました。ところで皆さん、「疲れがとれない」「やる気が出ない…」等の症状がありませんか?それは秋バテかもしません。

原因是“秋の大きな温度変化”と“夏の疲れ”にあります。季節の変わり目となる秋は、気温や気圧の変化に伴い、体や内臓の冷えが起こりやすくなっています。体は、秋の気候に合わせようと必死に体温調節します。夏の疲れを引きずつたままだと体は悲鳴を挙げ、結果、秋バテになってしまいます。

★秋バテ対策として、まお体力づくりする事は必要不可欠です。朝夕の涼しい時間帯にでも良いので、散歩やストレッチ、椅子に座ったまま首・肩を回したり、足踏みを行うだけでも効果的です。

★暑いからと、冷たい食べ物や冷たい飲み物を摂り続けると、胃腸は冷え、血液の循環が悪くなり、結果、めまい・倦怠感・疲れが取れない…等の症状が出てくる事があります。そんな時は、体を温める食材や温かい飲み物を積極的に取り入れて、体を内側から温めましょう。

これから旬を迎えるカボチャや芋類、キノコは、疲労回復にも効果的なビタミンB群やビタミンC等の栄養素が入っており、秋バテに対し、とても効果があります。

秋は日が短くなる為、気持ち的に余裕がなくなったり、台風の不安等、精神的な負担も体調変化に繋がります。適度な運動、細目に水分補給、温め(38~40度)のお風呂に浸かり、心身共にリフレッシュしましょう。睡眠も十分にとつて、秋バテ予防に心掛けていきましょう。

作業療法士 D・K

特養 つるがさか

ラーメン屋 来園



8月20日、当施設で「夏祭りの予定でした」

でしたが、延期となりました。

少しでも夏の思い出を作つて頂きたく、昼食時に『麺屋あら闘』様にお願いし、利用者の方と職員にラーメンを提供して頂きました。

提供前から利用者の方は「前にも来て

くれて、食べたやつだよね?楽しみだ。」

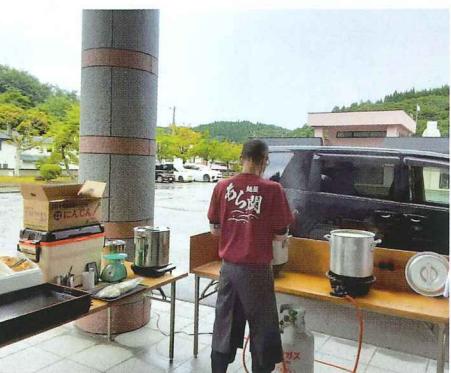
と話し、待ち遠しい様子でした。

完成したラーメン

を提供すると

「おいしい」と話し、

スープまで飲み干し、完食されました。



7月5日、道の駅なみおか・アップルビルへ行つてきました。

外出の1時間前には、各自で身支度をされ、今から乐しみにされていました。

天候も良く道中の車内では、外の景色を見て「久しぶりだな」「いつも方面に来たことないな」と話されていました。

アップルビルでは、ソフトクリームの種類が豊富なため、利用者の方々はどの味にしようか迷つていましたが、購入したソフトクリームを田の前にすると「わあ、おいしそうだ、ありがとうね」と話され、笑顔で召し上がつていました。

施設に戻られてからも「楽しかった」「まだ、お願いします」と話され、楽しんでいたようでした。

次回は、全種類のソフトクリームの味を制覇してみたいですね。

今年も

『麺屋あら闘』様には、来園して頂き、誠に有難うございました。

N・Y

新職員さん
鶴ヶ坂事業所の
中村 耕英



調理員

T・M



ウキウキ・ワクワク
ドライブ

令和5年度

永年勤続表彰について



中川理事長(左)から表彰される受賞者

去る5月28日、弘前市「フォルトーナ」において10年以上勤続し事業に貢献された職員の表彰式が執り行われました。

本年度の受賞者は、浪岡事業所2名、常盤事業所3名、にしやま事業所3名、鶴ヶ坂事業所1名 計9名でした。

表彰式では、中川理事長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が授与され、その後、長年にわたり事業運営にご尽力いただきましたことに労いと感謝のことばがありました。

受賞者の皆さん、誠にあめでとうございました。

本部事務局

社会福祉法人 桐栄会の事業

編集後記

今年の夏、我が家のが娘たちと、地域のねぶた祭りに参加しました。

合同運行では、三十数台

のねぶたが一堂に集まり、明かりが灯され、囃子が鳴り響くと「やっぱり夏つてこうでねば！」と、

4年ぶりに戻ってきた「夏」を感じました。

我が家の子供たち、特に下の4歳は、合同運行、最後まで歩けるのだろうか、途中で「歩けない、抱っこおんぶ…」となることはないかと心配しましたが、頑張ってくれました！「ヤーレ ヤーレ ヤーレヤー」と最後まで大きな声で叫んでいました。

家に戻ると「疲れたあ。もう行かない。」と言うもの、次の日には「ママ、行くよー」とねぶたの「シヤリ」を着て走っていました。

数日間の短いねぶた祭りですが、子供たちと楽しむことができ、とても良い思い出となりました。

S.T

桐栄会の事業



浪岡事業所

常盤事業所

にしやま事業所

鶴ヶ坂事業所

【介護保険指定事業】

【老人福祉事業】

【老人福祉事業】

【老人福祉事業】

【老人福祉事業】

【ケアハウス】

【ケアハウス】

【ケアハウス】

【ケアハウス】



◎電話(代)
〇一七二一六二一九二〇一

◎電話(代)
〇一七二一六九一五二二五

◎電話(代)
〇一七二一六九一一一〇

※「どうえい」掲載の個人に関する情報は、「ご本人の許可を得て使用させて頂いております」。

(社会奉仕活動、園庭草取り)

感謝録

慰問に来てくださいました皆様です。
ありがとうございました。

鶴ヶ坂寿会
(社会奉仕活動、園庭草取り)